

埼玉県 中山間ふるさと支援事業 について

1

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間ふるさと支援事業とは

- 中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- 中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱（農林水産省）に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は6億9千万円。
- 事業主体は都道府県。
- 運用益と基金を取り崩して事業費としている。事業費は約10,726千円（H26）。

中山間ふるさと支援事業とは

現状

- 高齢化する中山間集落（H22高齢化率 28.6%・全県20.4%）
- 人口減少の進行（H17 → H22 92.84%・全県101.98%）

課題

- 過疎化、高齢化により地域コミュニティの維持が困難
- 営農の継続、伝統文化の継承、耕作放棄地の増加等が懸念



中山間ふるさと支援事業

事業の構成

- ① 地域住民活動の活性化に係る調査研究事業
- ② ふるさとリーダー育成のための研修事業
- ③ 中山間地域の課題、魅力に係る啓発推進事業

計画(H27~H31)

事業区分	事業名	計画期間 の事業量	単位	年度別事業量				
				H27	H28	H29	H30	H31
調査研究 事業	住民活動支援 (コンサルタント)	3	地区	1 (1)	→	1	→	1
	住民活動支援 (ふるさと支援隊)	新規 10	支援隊	2 (3)	2	2	2	2
	集落営農体制確立	10	課題	2 (2)	2	2	2	2
研修事業	集落リーダー育成 研修	新規 10	人	2	2	2	2	2
推進事業	広報紙の配布	20	回	4 (1)	4	4	4	4
	啓発・普及活動	15	回	3 (1)	3	3	3	3

※ () 内は平成27年7月末時点の実施状況

調査研究事業のうち

住民活動支援【コンサルタント】

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

平成27年度は、平成26年度に引き続き秩父地域の観光農業を支援している。



秩父地域（H26～27）秩父観光農林業協会

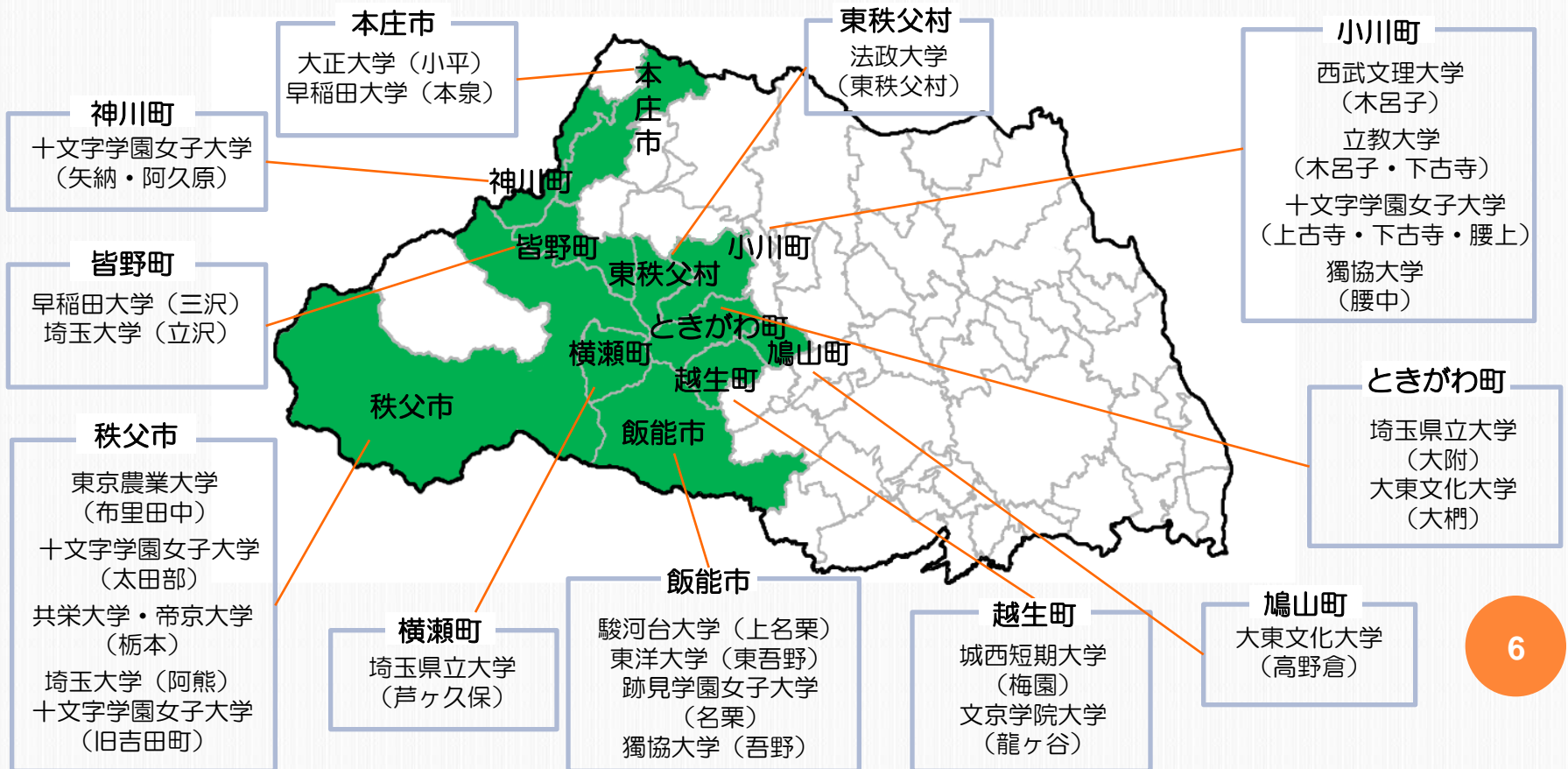
平成26年2月の大雪による被害を契機に、秩父地域の観光農業者が連携し、秩父地域の観光農園をPRする様々なキャンペーンを実施。

- SLちちぶブルーベリートレインの運行
(秩父鉄道株式会社と連携)
- 秩父観光農業Oh!園(応援)アンバサダーの委嘱
- SLなっきいちちぶぶどう郷の運行(予定)
- 所沢駅でのぶどうキャンペーン(予定)
(西武鉄道株式会社と連携)

調査研究事業のうち

住民活動支援【ふるさと支援隊】

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。
平成22年度から延べ30支援隊が活動している。



調査研究事業のうち

住民活動支援【ふるさと支援隊①】

平成27年度は、平成26年度以前から引き続く8支援隊に加え、新たに3支援隊が活動を開始している。



越生町龍ヶ谷地区 文京学院大学

- 地域住民と協働で地区の清掃作業をし、交流を深めた。
- 都市部の若者の視点で龍ヶ谷地区の新たな魅力を盛り込んだマップを作成し、地域住民に地域資源の再認識を促す。
- 「龍ヶ谷井戸端新聞」を地域住民と協働で作成し、外部に発信・PRする。

調査研究事業のうち

住民活動支援【ふるさと支援隊②】



鳩山町高野倉地区 大東文化大学

- 営農組合の協力のもと、地域在来の手法で鳩山大豆の栽培を実施している。
- 学生のアイデアで、地域の話題となるような大豆の加工品開発を行う。
- 地域住民と学生の取組を地域に広め、「まちの話題」とするための広報活動を行う。



調査研究事業のうち

住民活動支援【ふるさと支援隊③】



秩父市旧吉田町 十文字学園女子大学

- 地域の伝統行事、踊りなどについて地域住民から指導を受け、保存する。
- 特に高齢の地域住民から、昔の暮らしの様子や昔話を教えていただき、まとめる。
- 現在は衰退している農林業について、当時の様子を伺い、地域住民と協働で農作業を実施する。



調査研究事業のうち

集落営農体制確立①

集落全体で取り組むべき新たな生産技術や鳥獣害対策等の調査研究を行い、農業生産の維持・拡大による中山間地域の活性化を図る。
平成27年度は、平成26年度から引き続く2課題に取り組む。

鳥獣被害防止対策推進事業

- 捕獲のみでは効果がないことを実証するなどニホンザルの効果的被害対策を解明する。
- 加害動物の慣れが生じにくく、長期に設置効果が見込める新たな被害防止技術（柵）を開発する。
- 加害動物に関する知識を周知するための画像を確保し、効果的な啓発活動を実施する。



調査研究事業のうち

集落営農体制確立②

秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立



- 地元の古生層の石を利用した中山間地域にしかない特徴のある緑茶を開発する。
- 手火入れ技術の特徴ある香味を残した簡易製造法を確立する。
- 緑茶用品種の茶葉を活用した紅茶製造法を確立するとともに、イベントに出店するなどして新規需要を開拓する。

御清聴ありがとうございました。

